



令和5年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

知財活用企業(意匠)

セイコーエプソン株式会社

代表取締役社長 小川 恭範

企業概要

<https://corporate.epson/ja/>

所在地：長野県諏訪市大和三丁目3番5号

創立：1942年

資本金：53,204百万円

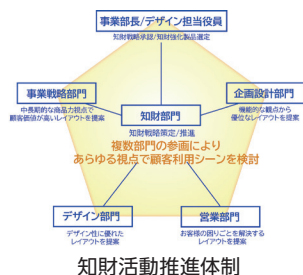
従業員：77,642人

事業概要：各種プリンター、プロジェクター、パソコン、スキャナーなどの情報関連機器、産業用ロボット、ウオッチなどのウェアラブル機器、水晶デバイス、半導体などの各種電子デバイスの開発・製造・販売



受賞のポイント

- ①企業パーパスに基づく長期ビジョンが目指す「持続可能でこころ豊かな社会」の実現のため、知財部門が経営や事業・開発部門と緊密に連携して知財戦略を事業戦略と統合した上で主体的（Proactive）な知財活動を展開している。印刷装置については、知財部門が担当役員との戦略共有に基づき、顧客利用シーンまでを想定した商品デザイン開発に参画し、創出された知的財産権（商品の顧客利用シーンのレイアウト意匠を含む）を取得する活動を展開している。
- ②印刷装置においては、印刷装置を配置した顧客利用シーンにて新たな付加価値を創出するようにデザイン開発を行っている。それを踏まえて、印刷装置（単体）の意匠のみならず、改正意匠法を活用して印刷装置が配置された顧客利用シーンのレイアウト意匠（内装意匠）のポートフォリオも構築している。
- ③販売プロモーションでは、改正意匠法により新たに内装意匠が保護対象となり、印刷装置のレイアウト意匠について大判プリンター分野で初めて意匠権取得できたことを伝え、顧客の関心や共感を得る媒体として意匠権を活用し、さらにその活動を他の機器にも広げようとしている。



知財活動推進体制



Sure Color シリーズ

写真・高品位ポスター・CAD・POP/ポスター印刷用大判プリンター

スタイリッシュなデザインで高生産を実現

SC-P8550D / SC-P8550DL / SC-P6550D / SC-P6550E

SC-T7750D / SC-T7750DL / SC-T5750D / SC-T3750D / SC-T3750E

印刷装置の一例(大判プリンター)



印刷装置が配置された顧客利用シーンの一例



販売プロモーションの事例